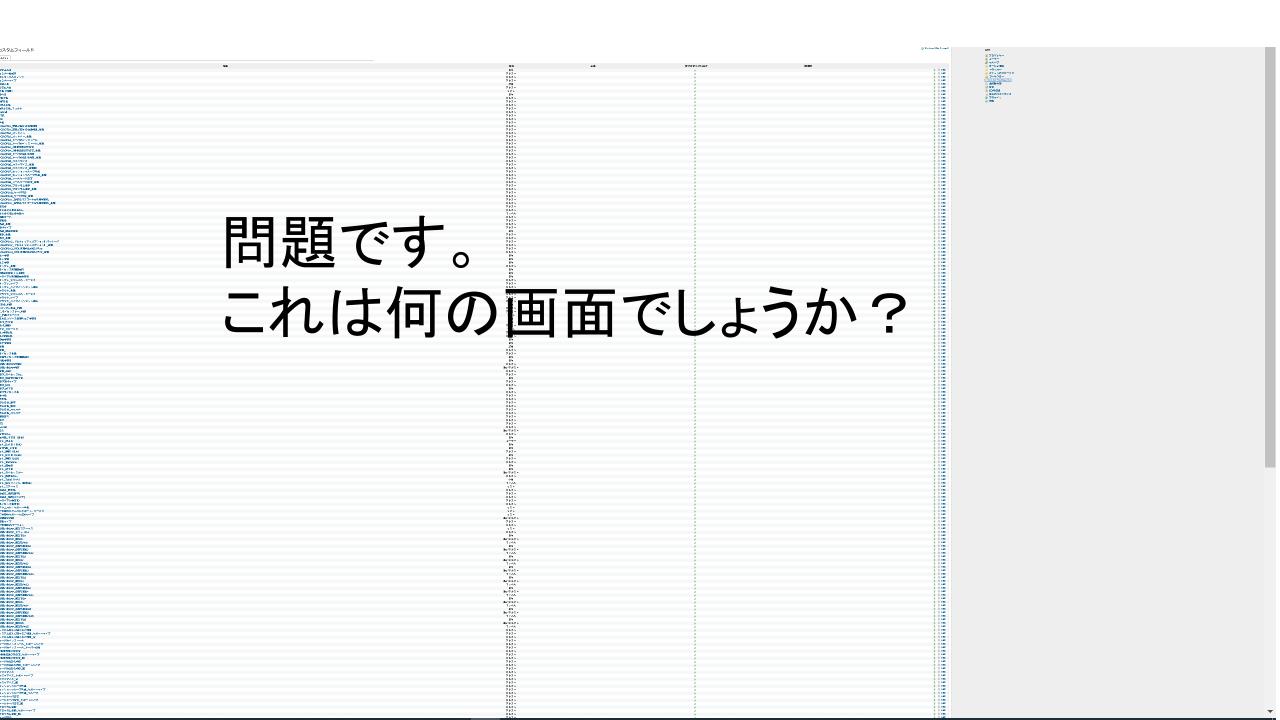
トラッカーの設定をコピーする方法

2020.11.14

redmine.tokyo第19回勉強会LT

発表者:山崎進(株式会社アンコウソフト代表)





	名称	形式	必須	全プロジェクト向け	使用中	
		日付		✓		↑ 前削除
		テキスト		✓		↑ 前間
		テキスト		✓		♪ 前附除
		テキスト		✓		↑ 前除
		整数		✓		★ 前 削除
		テキスト		✓		↑ 前除
		リスト		✓		↑ 前 削除
		日付		*		1 前除
		テキスト テキスト		~		↑ 前間除
			_	*		
	正解は力		/ —	7		↑ 前間除
		7.				↑ 前隙
		FFAN				★ 前削除
		アキス		•	<i>,</i>	↑ 前削除
		テキスト		✓		↑ 前隊
	E	テキスト		✓		♠ 前 削除
数量	一覧画面	** C		✓		↑ 前除
				✓		↑ 前隊
		テキスト		✓		↑ 前除
	<i>7</i> 6 H			✓		↑ 前隙
数量		テキスト		*		↑ 前除
		テキスト		*		↑ 前隙
量		テキスト		*		↑ 前間除
数		テキスト テキスト		*		↑ 前間除
大里		テキスト		*		↑ 前間除
		テキスト		*		1 mik
		テキスト		•		☆ 前 削除
成		テキスト		*		↑ 前削除
成_数量		テキスト		✓		♪ 葡削除
		テキスト		✓		↑ 前除
<u>a</u>		テキスト		✓		♪ 前附除
		テキスト		✓		↑ 前隊
		テキスト		✓		↑ 前除
		テキスト		*		↑ 前隙
Lat MINIOUS		テキスト		*		↑ 前間除
大時初期化		テキスト		*		↑ 前間除
大時初期化 <u>数量</u>		テキスト テキスト		*		1 前間除
		テキスト		*		↑ 前間除
		ファイル		*		1 前間除
		テキスト		*		↑ 前間除
		テキスト		*		↑ 前間除
		テキスト		*		↑ 前隙
		テキスト		✓		↑ 前隊
		日付		✓		↑ 前間除
		テキスト		✓		↑ 前除
		テキスト		✓		↑ 前隊
ション』 パッケージ		テキスト		✓		♠ 前 削除
ション』_数量		テキスト		✓		↑ 前 削除
作業		テキスト		✓		↑ 前隊

管理

🛂 プロジェクト 🚨 ユーザー

₫ グループ

🧼 ロールと権限

🔲 トラッカー *▽* チケットのステータス

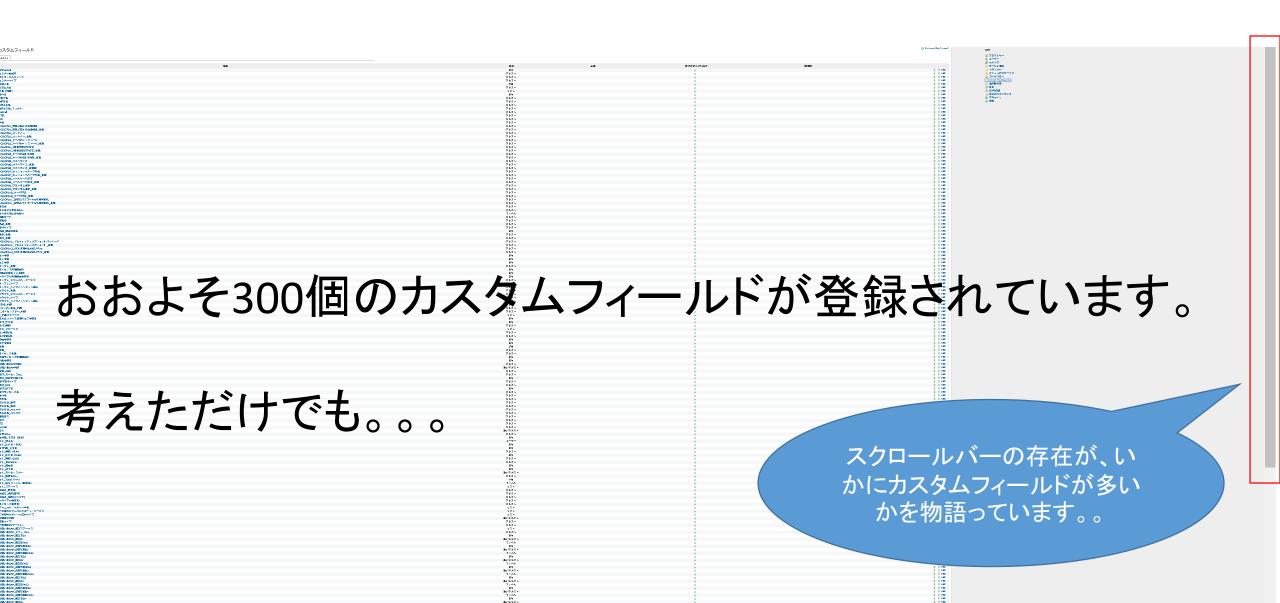
□ ワークフロー
□ カスタムフィールド

∃ 選択肢の値 聯 設定

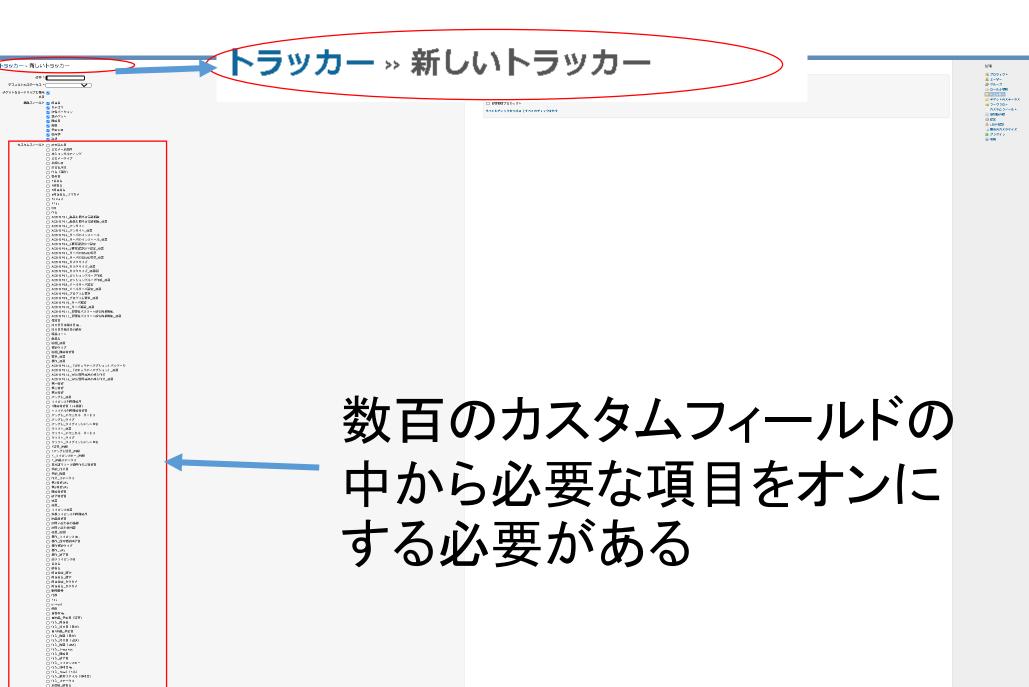
♪ LDAP認証

表示のカスタマイズプラグイン

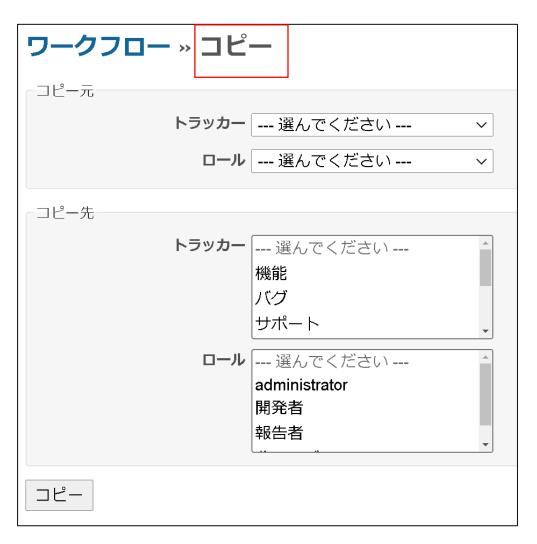
❷ 情報



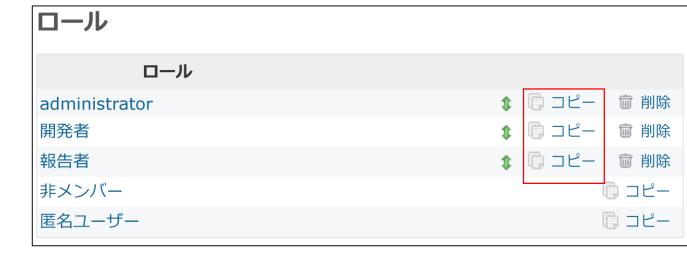
数百のカスタムフィールドを入力したり設定をするのも大変な作業ですが、新規にトラッカーを登録をする時も大変な作業が待っています。



プロジェクトやワークフローやロールには コピー機能があり、簡単に設定値のコピーが可能





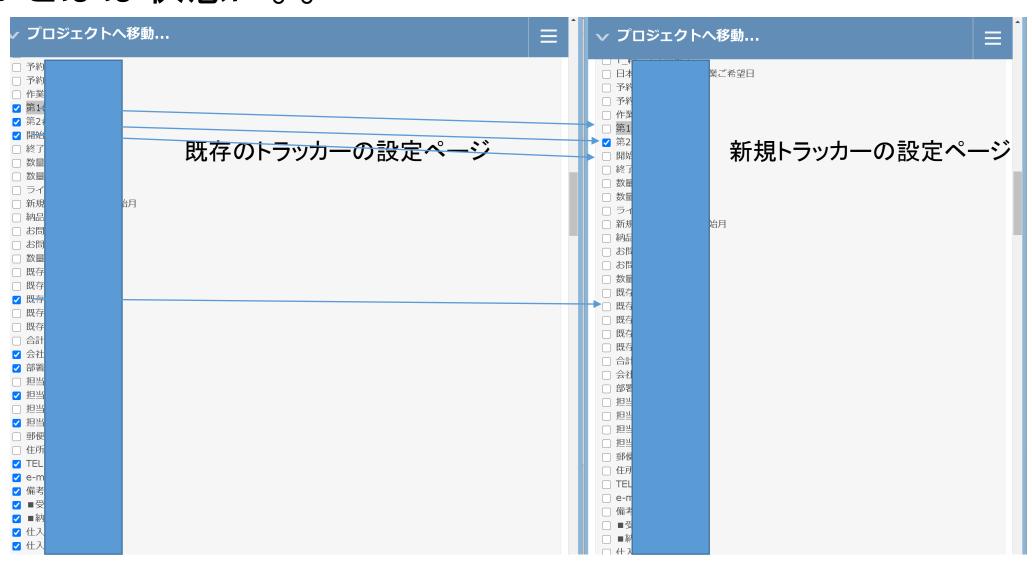


トラッカーにはコピー機能がないため、AというトラッカーとBというトラッカーで同じカスタムフィールドを表示させたい場合、毎回表示させたいカスタムフィールドをオンにする必要がある

トラッカー

トラッカー	デフォルトのステータス			
機能	新規		\$	宣 削除
バグ	新規		\$	宣 削除
サポート	新規	坐山及/土土 フィシー L 2	\$	宣 削除
利用実績記録	新規	削除はあるがコピー	\$	宣 削除
Bug	New	アイコンがない。。	1	宣 削除
Function	New		\$	宣 削除
support	New		\$	宣 削除
#a #s	新規		\$	宣 削除

左右を見比べて一つ一つチェックを入れるのは大変な作業。。。。 IT業界あるあるの典型的な単純作業 目がとほほ状態に。。



JSでトラッカーコピー機能を作りました。

手動ではやりたくないので

既存のトラッカーの設定情報をコピーするJSソース

```
//現在のチェックが入っている情報を登録
var array = {};
$("#content label").has("input").each(function(i, elem) {
    array[$(elem).text()] = $(elem).find("input").prop("checked");
});
sessionStorage.setItem("data", JSON.stringify(array));
```

```
簡単に説明をしますと
```

```
var array = {};
で配列を宣言をします。
```

```
$("#content label").has("input").each(function(i, elem) {
で「content」ID配下の「label」要素が「input」要素を持っている場合
```

```
array[$(elem).text()] = $(elem).find("input").prop("checked");
で「array」という配列に、「input」要素のチェックボックスの値(TRUEかFALSE)を記録させます。
```

```
sessionStorage.setItem("data", JSON.stringify(array));
```

でsessionStorageという保存先に上記の結果をJSON化して「data」という名前で保存をします。

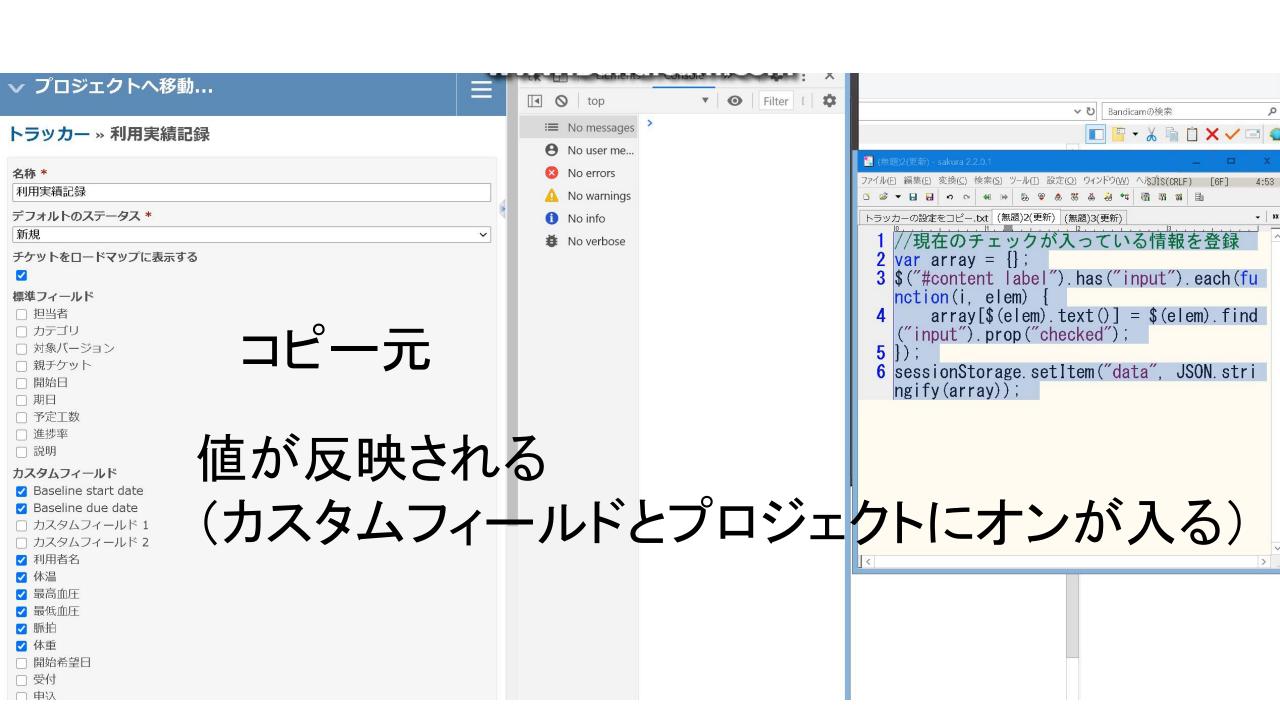
新規のトラッカーに既存の設定情報を反映させるJSソース

```
//登録した情報を復元(ただしオンになっているものだけ反映、オフ
の情報は無視)
var data = sessionStorage.getItem("data");
data = JSON.parse(data);
$("#content label").has("input").each(function(i, elem) {
 if (data[$(elem).text()] == true) {
  $(elem).find("input").prop("checked", true);
```

```
簡単に説明をしますと
```

```
var data = sessionStorage.getItem("data");
で「data」という名前で登録をした既存のトラッカーの設定情報を取得
data = JSON.parse(data);
で取得した情報をJSONパースをします。
$("#content label").has("input").each(function(i, elem) {
で「content」ID配下の「label」要素が「input」要素を持っている場合
if (data[$(elem).text()] == true) {
で該当の要素がtrueの場合は以下の処理をする
```

\$(elem).find("input").prop("checked", true); で該当のチェックボックスをオンにします。



まとめ

10行ぐらいの簡単なJSコードですが、人間を単純作業から解放してくれる魔法の呪文です。

この原理を応用するとその他の項目でコピー機能がない場合でも、JSで簡単にコピー機能を追加することができます。

ただし、どれぐらい需要があるかは分かりませんが。。。

ご清聴ありがとうございました

株式会社Ankosoft

〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-4上野コアビル3F http://www.ankosoft.co.jp

info@ankosoft.co.jp

山崎進



おまけ

弊社ではノーマルRedmineのガントチャートページを強化したANKOガントチャートという製品を販売しています。

機能の詳細は、https://www.ankosoft.co.jp/anko_gantt_chart/ をご覧ください。

今回、この資料をダウンロードしていただいた方々へのおまけとして、ANKO ガントチャートを2020年11月末で無償でお試しいただけるバージョンをご提 供いたします。

Redmine3.xから4.xまでのバージョンであればインストールすることが可能です。

ソースファイルは下記のURLからダウンロードしてください。

http://www.ankosoft.co.jp/manual/ankoalm_ganttchart_3.2.8_20201130.zip

インストール方法はマニュアルの

http://www.ankosoft.co.jp/manual/ANKO_Ganttchart3.2.pdf 4ページの「1. ANKO ガントチャートのインストール・アンインストール方法」の通りに行ってください。

マウスドラッグによる日付変更機能



|マウスドラッグによる親子、バージョン関係付与機能

